

宮城県環境影響評価技術審査会 宮城県環境影響評価マニュアル検討部会 議事録

日時 平成19年10月19日(金)

午前10時30分から正午まで

場所 行政庁舎11階 第二会議室

1 開会

- ・ 宮城県環境影響評価技術審査会マニュアル検討部会の開会について
- ・ 技術審査会長が指名した4人の部会委員の紹介

2 あいさつ

環境生活部環境政策課技術副参事

3 宮城県環境影響評価マニュアル検討部会長の選出

- ・ 委員の互選により、長谷川会長が部会長に選出

4 宮城県環境影響評価マニュアル(準備書・評価書)の改訂について

長谷川会長

議事を始める前に、このマニュアルの作成に当たっている橋本さんにも同席願います。

橋本技術部長

宮城県環境アセスメント協会技術部長の橋本と申します。よろしく願います。

長谷川会長

その他、参考人の方を事務局から紹介願います。

事務局

(参考人の紹介)

長谷川会長

それでは議事の(1)の改訂方針及びスケジュールについて事務局から説明願います。

事務局

(資料2について説明)

長谷川会長

これについて御質問ありますか。特になければ(2)の素案の概要について引き続き説明願います。

事務局

(資料3、4及び5について説明)

長谷川会長

何か御意見ありますでしょうか。特になければ私の方から。

これについて気が付いたのは、前回の方法書の時も同様であったが、特に道路についての事例であるが、宅造の事業にとってはあまり良い事例でないのではないかと、一般的なものだと示してもらわないと、新たに図書を作ろうという人はあまり参考にしないのではないかと。景観の方で気になったのだが、道路について書いてあるが、ではそれ以外の場合ではどうなのか。新たにこのマニュアルを使う人にとってはあまり親切ではないのではないかと。道路以外のものについても、ここについて記載してください、あるいはここについては省いて良いと言ったことを、前のほうで整理して示した方が読みやすいのではないかと。

事務局

御指摘のとおり、前段において、面的整備事業についてもどのように参考になるかを明確に示すよう、修正したい。

長谷川会長

例えば、道路事業だとか、ここで示されている沈砂池とかは通常要らないが、一般の宅造の事業では必要なわけで、道路では省けるが、他の一般的な事業では必要だとかなど、どこかに記載しておいたほうがわかりやすいのではないかと。

事務局

書き方について検討したい。

菊地(永)委員

事例の中で取り上げている項目は、方法書マニュアルの事例でも取り上げているからか。

事務局

方法書マニュアルでは、まだ項目の選定のみについて示していたことから、基本的に全ての項目を示していた。今回のマニュアルについては調査・予測・評価の結果についても示すことから、動物・植物・生態系分野については、動物を代表して事例を作成させていただいた。

菊地（永）委員

動物の事例の中に、うしろに記述されている生態系を参照して書いているところがある。また、動物では希少種を対象として評価予測を行い、生態系でも上位種や特徴のある特定の動物種を取り上げて生態系の評価を行っている。これまでの案件を見ても、動物の評価・予測については、記述の前後関係が複雑で、理解しにくい場合が多い。これらをどのように記載すればわかりやすくなるのか。動物と生態系との記載内容の関係、記載の仕方については、難しいところがある。

事務局

御指摘のとおり、この件に関しては現在手続中の案件においても同じ問題があり、どのようにわかりやすい記載をすべきか苦慮しているところである。アセスメント協会の意見も聞きながら検討したい。

松山委員

この道路の事例は、ほとんどの事例が関係するものとして提示しているのではないか。地形改変による景観への影響だとか、身近な事例として道路を示しているといったことを、前段としてそういうことでこの事例なのかということがわかるようにすべきである。

長谷川会長

自分はそのようには思っていなかった。道路事業にしたのは、宅造とかデータとしてアセスの事業者では出せないものも多いが、道路であれば行政として出しやすいのではないかと思った。例として出すのであれば、仮想の場所を考えなければならないからである。それはそれとして仕方ないが、やはり面的整備としては、どういったことを検討しなければならないかを示しておく必要がある。

橋本技術部長

方法書マニュアルの時から道路事業を例としていたが、道路事業が事例として作りやすいことがあった。まさに、公共事業ではあるが。面整備は全く事業特性も違う。事例としては面的整備事業の中での道路事業としていた。

長谷川会長

方法書マニュアルをよく見ると、面的整備についても出ているが、やはり道路事業が示しやすいことがあったかと思う。それはそれで構わないと思うので、面的整備ではどういうことに留意すべきかを示しておいた方がよい。

事務局

巻末資料1-17ページをご覧のように、事業特性については面的整備事業についても示していた。しかし、結果については道路事業のみを示している。道路事業を代表としたのは、会長御指摘のとおり事例として出しやすい、示しやすいということもあったが、松山委員に指摘いただいたとおり、全ての事業に参考になるよう考慮したつもりであることから、それがわかるように、前段のところでも明確に示したい。

松山委員

県で工場誘致しようとしている面的な広がりのところ、道路整備をするということであればわかります。

菊地（永）委員

道路で評価をしているということで、動物の場合、水域については川に濁水が流れるだけの問題であり、水域が無くなったりするような、かなり影響の大きくなる事例ではない。特に、サンショウウオについて移植を行っているが、同じ水域に移植している意味の無い事例ではないか。移植を必要とするのならば、もっと良い事例にすべきである。

事務局

事例自体の内容としてふさわしくないものについては、修正したい。

長谷川会長

道路事業であれば、稀少種がいても少し避ければ済むが、面的開発ではそうはいかないことからどう移植するかが重要になる。そういったことを先ほどのように全体の事業を考えたときに留意させることを示しておけば、よりよい事例になるのでは。

事務局

水域が全てなくなるようなケースにも対応できるような事例に修正したい。

長谷川会長

作る方は大変かと思いますが、バージョンアップすると思いますのでよろしくお願
いします。

私の方で確認したいのは、巻末資料1-76ページで、事業計画の時に3つのルート
の候補を検討すべきとあるが、まさしくこれがアセスの基本的な考え方だと思
うが、実際の案件ではこれが示されていないため審査会でも問題になっていた
が、これについては最初に書くべきではないか。

事務局

巻末資料1-11ページの事業特性の中で、全体に係わる環境配慮の経緯を示して
あり、御指摘の箇所は、個々の環境要素に係わる部分についてのみ言及してい
る。

長谷川会長

最初に書いてあるのも道路だけという感じになっていて、いくつかの候補地を
選んだ上で、ここが最適だろうということを述べておいて、道路の場合はこう
ですよというようにした方がわかりやすい。

事務局

アセス上重要な箇所でありますので、道路事業のルートについてのみ示して
いますが、面的事業での場所の選定経緯についても事例として示したい。

松山委員

環境アセスの哲学がバージョンアップした、考え方が変わった、ということ
をもっと全面に出すべきである。

菊地（立）委員

どの事業にも共通する部分と事業の特質ごとに違う部分があるが、最初に
共通する部分を示しておいた上で事業の種類毎に明示するという2段構えの
構成にした方がわかりやすい。

長谷川会長

同じ意見だと思うが、今までの案件では沢山書きすぎのこともあってわか
りにくいことがあったが、今回事例としてある程度絞って事例を作成して
もらっているが、道路事業に絞りすぎていてこのような問題になっている。
先ほどの意見のように、全般的なものではこういうものがあって、例
えば道路事業ではこういうものが不必要で、面的事業ではこういったこと
が必要だということを示してもらおうとわかりやすい。

菊地（立）委員

道路事業については、ものすごく細かくいろいろ書いていて、それだけに混乱を招かないかと思う。全体構成をまとめたような、一覧表のようなもので、事業ごとに必要な項目を示したようなものを示してほしい。

長谷川会長

書き方はいろいろとあると思うが、例えばアンダーラインを引いて下に示す方法を用い、道路事業に関するものであるとか、また他の事業ではこれを入れるといったことを明示する方法もある。このとおりやっていけば、準備書が作れますよといったようなものであってほしい。

松山委員

面的開発を行う人であればこのフローに従って作成できる。道路事業者であれば、これとこれを記載すれば作成できるといったイメージか。

長谷川会長

面整備の時であれば、沈砂池とか検討するが、どこにどう書けばよいかわからないから、章ごとの中で、これは道路では不必要である、又は道路以外では必要であるなど、書いてあった方が使いやすい。

事務局

今回道路事業を例としたのは、全国のアセス事例の4割が道路事業であるということで、代表的な事業になるだろうということであったが、一方で宮城県では面的整備事業が主であり、実際の事例としては面的整備事業の方がよかったのかなという気もしています。しかしながら、道路事業と面的整備事業の両方を事例として完全に示すとなると、非常に厚いマニュアルになってしまうことから、今回は方法書マニュアルからの流れで道路事業としていますが、なお、面的事業を含めて他の事業でも参考になることがわかるように、御指摘のように、一覧表やフローなど、示し方はいろいろあると思うので検討させていただきたい。

長谷川会長

大変だとは思いますが、次回の検討部会まで修正の方をお願いします。追加の意見があれば後ほどFAX等で事務局に連絡いただければと思います。

5 閉会